

介護老人保健施設オアシス21 准看護師 笹森 彩子

功 績 オアシス21で認知症行動療法としてパステルアートを自ら提案。自身で教室に通い、石狩市で第1号のパステルアートインストラクター資格を取得。ご利用者には活動を通じて、施設での楽しみや達成感を感じて頂けただけでなく、職員向けの教室を開催することからオアシスならではの活動の一つとして定着させた功績。

推 薦 者 看護師長 三上 久美子

推 薦 理 由 以前、パートのケアワーカーとして勤務していた笹森は、全てのご利用者がオアシスで楽しんで生活してもらいたいと、常にご利用者の声に耳を傾けていました。看護師としてオアシスに再入職してもその気持ちは同じで、輝きの一日を感じていただけるよう、仕事が終わったあとに、パステルアート教室に通い、見事に石狩市第1号のインストラクター資格を取得。初めは小集団での活動でしたが、職員向けの教室を行うことで、現在はオアシス独自の活動として定着し、何組ものご家族様の「是非やりたい」との声からご利用者とご家族様一緒に活動としても喜ばれています。これらの業績は理事長賞に値すると考え推薦いたします。

内 容

笹森は平成22年4月から平成23年の9月までオアシス21でパートのケアワーカーとして勤務。その後、看護師取得を目指し退職しましたが、脳外科病院を経て平成29年1月にオアシスに准看護師として再入職した職員です。

笹森はMVV・施設理念を理解しながら「看護師としてご利用者が輝きの1日を感じていただけるには何ができるだろう。」と活動内容を模索していました。パステルアートとの出会いは、ちょうどその頃、オアシスのブログの読者にパステルアートの先生がいることが分かったことがきっかけでした。その後、認知症ケアに繋がると考え自ら教室に通うようになりました。

最初は教室に通いながらオアシスでは小集団（2名）の認知症行動療法としてパステルアートを開始。ご利用者にとっても楽しみながら気楽にできる活動であり、すごく集中されることから直ぐに効果が出始めました。その後、笹森は石狩市第1号のパステルアートインストラクターに合格。合格後は職員向けの教室を開催。現在はオアシスならではの活動としてご利用者から人気のある活動として定着しています。現在はナースイン、通所にも広めています。

先日はポスターを見た利用者家族が、「是非やりたい!」とのことから、ご利用者とご家族様が一緒に一つの作品をつくる活動を実施。

ご家族は「素晴らしい。とても感動しました。」と大変喜ばれていました。作品はオアシスの中に展示してあることもあり、あるご利用者は毎日「これ、私が作ったの!」と職員に自慢されています。

その他にもこの活動を通して、多くのご利用者が真剣に活動に取り組み、生き生きとした表情を見せてくれています。

【※パステルアート】 好きな色をご自身で選び、それを削り、指に粉になったパステルをつけて絵を描く。色を重ねたり、ぼかしたり と指をととも使うことから、これが頭を使うことにもなり認知症行動療法として効果があると考えられる。型があるため絵が描けない人でも気楽に楽しめる。